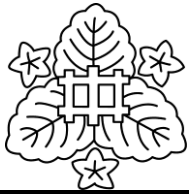


2016



石神井中だより

平成 28 年 2 月 23 日 発行 2 月号

- 明るく、健康な生徒
- 正しい判断力を持ち、主体的に
学び行動する生徒
- 豊かな情操を持ち、品位ある生徒

<http://www.shakujii-j.nerima-ky.ed.jp/>

学校 110 番

校長 田中 隆史

本校の取組目標のひとつに「生徒が安心して活動できる学校づくり」があります。先月は、その一環として不審者の校内侵入を想定した避難訓練を行いました。今回は、「学校 110 番」という自動通報装置を使用し、生徒が各教室でバリケードを作り、不審者の侵入を防ぐ訓練でした。

この装置は、非常ボタンを押すと警視庁の通信司令室に自動的に通報され、本校周辺をパトロールしている警察官やパトカーが 5 分後には駆けつけるというものです。このような自動通報装置を都内のすべての小・中学校に設置するきっかけとなったのが、大阪の池田小学校での不審者侵入事件です。

この事件は、平成 13 年 6 月に不審者が自動車の出入りのために開いていた東門から包丁を持って校内に入り、次々と子どもたちを切り付け、十数名の児童や教員が殺傷されるという安全であるべき学校において決してあってはならない悲惨な出来事でした。今から 15 年程前の出来事ですが、ここでの教訓を忘れずに学校の安全を守っていかねばなりません。日頃から生徒の皆さんにも心がけて欲しい教訓をあげてみます。

一つは、**校門や玄関などの出入りの管理をしっかりと行い、不審者を学校の敷地内に侵入させないことです。**本校では、主事さんに東門と西門を登校時と下校時以外は施錠してもらっています。また、正門は必ず閉めるようにしています。皆さんも気づいたときには、正門を閉めるようにしてください。

二つ目は、**来校者への声かけです。**来校者には来校者名簿に記入の上、名札の着用をお願いしています。教員は来校者に対し、「どちら様ですか」「ご用件は承っていますか」と声かけをするようにしています。皆さんも元気よく「こんにちは」とあいさつをし、少しでも気になる来校者であれば、必ず先生方に連絡してください。

三つ目は、**不審者を遠ざけるためには手段を選ばないことです。**池田小学校のような凶悪な犯行に及んでいる場合には、自分たちの身を守るためにバリケードを作って侵入を阻止し、近くにある机や椅子、サスマタなどを使用して不審者を自分たちから遠ざけるようにしてください。

最近、「子どもたちの安全」を脅かす事件が学校内外でたくさん発生しています。皆さんも、「事件はいつ、どこでも起こり得るものだ」という危機感をもちながら、学校生活を送って欲しいと思います。

